

京大炉におけるビーム利用のための次期中性子源検討Ⅳ

ワークショッププログラム

日時：2016年12月27日（火） 13:30～18:30

場所：京都大学原子炉実験所 事務棟大会議室

- 13:30-13:55 日野正裕（京大炉）「KUR 現状とワークショップ趣旨説明」
13:55-14:20 田中浩基（京大炉）「サイクロトロンを用いた BNCT 用加速器中性子源」
14:20-14:45 安部豊（京大工）「冷中性子源解析と関連コード開発」
14:45-15:10 細畠拓也（理研）「京大炉・理研連携による金属母材中性子集光スーパーミラー開発の現状」
15:10-15:35 大竹淑恵（理研）「理研中性子源による新たな展開」
15:35-16:00 清水裕彦（名大理）「名古屋大学小型中性子源 (NUANS) と新中性子源検討」

休憩 16:00-16:15

- 16:15-16:40 武田全康（原子力機構）「JRR-3 ビーム利用について」
16:40-17:05 大友季哉（高エネ機構）「物構研ビーム利用と将来計画」
17:05-17:30 藤田全基（東北大金研）「パルス及び定常中性子源による物性研究を例とした中性子科学ロードマップの重要性」
17:30-18:30 総合討論：小型-中型-大型施設をつなぐサイエンス、中性子源・デバイス開発（話題提供：UCNAS 報告（広田克也（名大理））

19:00- 懇親会